授業科目名・形態	精神看護方法論Ⅰ（精神看護の基礎） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
担当者氏名	畠山　禮子　・　戸田　博行	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	N6-2011npmht				

【授業の主題】

精神を病む人の症状と状態像を理解し、その対象を生物学的側面・心理学的側面・社会学的側面からアプローチする治療とケアと支援について学ぶ。また、精神看護におけるアセスメントの特徴を学び、アセスメントに用いられる主な理論について理解する。

【到達目標】

1. 精神を病む人の症状と状態像について理解できる。
2. 精神を病む人の特徴的な検査や治療法における看護について理解する。
3. 精神看護におけるアセスメントの理論について理解し、応用できる。

【授業計画・内容】

第１回　　精神症状とは何だろう（畠山）
第２回　　現症・状態像を理解する（畠山）
第３回　　生物学的側面から理解する―脳の構造・機能，検査、診断基準（畠山）
第４回　　精神看護におけるアセスメントの特徴とアセスメントに用いられる理論（畠山）
第５回　　心理学的側面からアプローチする検査 ， 社会機能・家族機能を測る尺度（畠山）
第６回　　生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援　①（薬物療法）（戸田）
第７回　　生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援　②（電気けいれん療法他）（戸田）
第８回　　生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援　③（身体の慢性疾患と合併、手術が必要な状態の看護）（戸田）
第９回　　主な精神疾患のケア①　器質性精神疾患（認知症）（ゲストスピーカー）（畠山）
第10回　　主な精神疾患のケア②　統合失調症・気分障害（戸田）
第11回　　主な精神疾患のケア③　生理的障害および身体的要因に関連した行動障害群（戸田）
第12回　　主な精神疾患のケア④　神経発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症）（畠山）
第13回　　主な精神疾患のケア⑤-1　神経症性障害、ストレス関連障害および身体症状（畠山）
第14回　　主な精神疾患のケア⑤-2　神経症性障害、ストレス関連障害および身体症状（畠山）
第15回　　まとめ（畠山、戸田）

【授業実施方法】

基本的に講義形式であるが、適宜ペアワークとリフレクションを実施する。

【事前・事後学習】【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護学概論」

【教科書等】

萱間真美，稲垣　中　精神看護学Ⅱ　地域・臨床で活かすケア　対象者の力を引き出し支える　改訂第３版

南江堂　2023.

【参考文献】

授業中に適宜紹介する。

【成績評価方法】

期末定期試験（80%）、課題レポート・提出物（10%）、受講態度・演習への取り組み（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への対応等について経験。
実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

授業中はペアワークもありますので、主体的に参加しましょう。